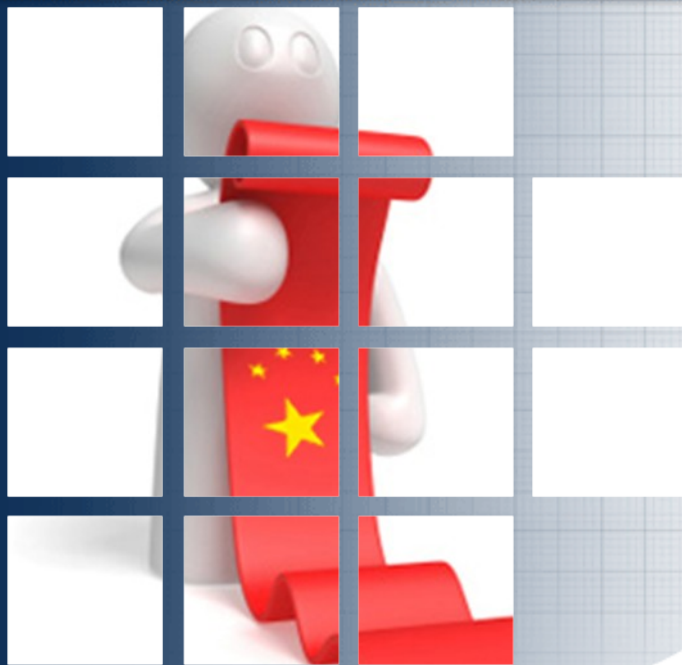


## 中国のテレマティクス関連 法規制の壁を乗り越えるには



### テレマティクス導入に積極的な中国政府、一方で新しい産業の成長に対し遅れをとっている認可法制の整備

OE テレマティクスサービスは中国で成長期を迎えています。海外の自動車メーカーは、政府の干渉や、国内メーカーより厳しい認可制限への対応に苦慮しています。

SBD 最新レポート「中国のテレマティクス関連法規制の壁を乗り越えるには」(レポート番号：SBD/TEL/2850)では、中国のテレマティクスに関する政府関与の現状と将来について分析します。特に、認可、規定、および政府関与の方向付けに重要な役割を果たす関連団体について焦点を当てています。また中国におけるテレマティクス展開の成功のチャンスを高める方法について提言しています。



本書では以下のような内容を取り上げています。

- 中国でのテレマティクス展開の成功のチャンスを高める
- 中国市場でのテレマティクスサービス立ち上げに関する規制と認可を扱う行政機関の解説
- 中国市場の複雑かつ厳格な政府法規制および認可行政の壁を克服する方法
- 戦略的提携により政府の意向に影響を与えるには

詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

担当：近藤 真子

Eメール：mkondo@sbdjapan.co.jp

Tel：052-253-6203

## ▶▶ テレマティクス規制は増加しているのか？減少しているのか？

### テレマティクスサービス運用に必要な認可

中国政府は新しく登場しつつある OE テレマティクス産業に対して、複雑な認可要件による厳しい管理を行っています。各種所要認可のうち、電気通信関係認可は情報産業省(MIIT)が、インターネットベースの新しいマッピング関連認可は測量地図作成局(SBSM)が管理しています。

MIIT は付加価値電気通信サービス(VATS)関連の広範な認可業務を担当しており、VATS 認可には OE テレマティクスサービスに不可欠な認可も含まれます。海外企業がこうした認可を取得する際の制約は、中国国内でテレマティクスサービス立ち上げを目指す自動車メーカーにとって非常に大きな障壁となっています。

中国政府の設定する認可要件をクリアするのは複雑かつ困難なプロセスですが、自動車メーカーはさまざまな戦略を用いてこの課題に対処しています。

- 合併企業を通じた認可取得、もしくは外国事業主に対する法規制を逃れるための財務手法の適用
- テレマティクス業務を中国国内のサービスプロバイダーにアウトソーシング
- 無料サービス提供により一部の認可要件を対象外とする
- 認可要件の少ないタイプのテレマティクスサービスを選んで実施する

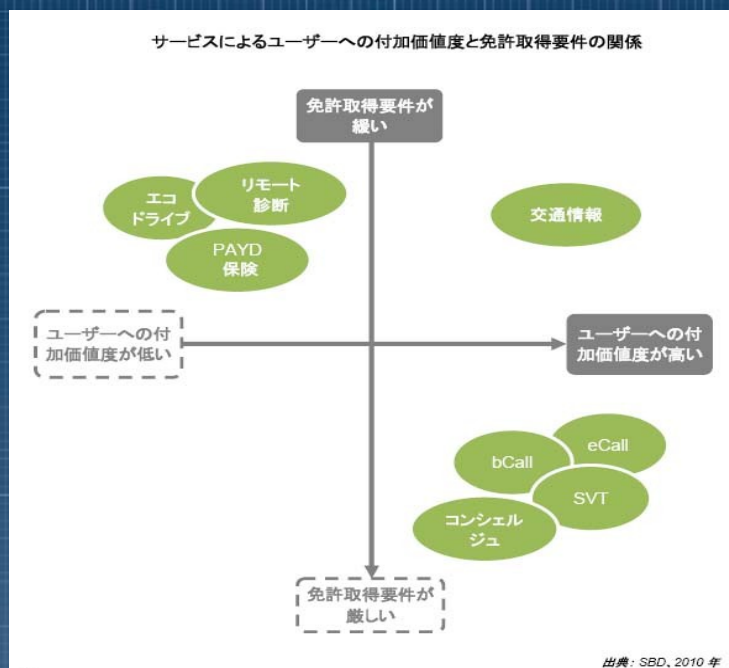
### テレマティクスサービス導入を義務付ける法規制

中国政府の認可要件が OE テレマティクスに制約的影響を与える一方で、自動車向けサービスを促進する法令も導入されています。短期的には、中国政府の施行した(電気自動車等の)新エネルギー車のモニタリングを義務付ける法令は、リモートダイアグノスティック・テレマティクス装置の装着につながるかもしれません。

長期的には、SBD の見解ではテレマティクスサービス 4 分野、すなわち eCall、通行料徴収、盗難車両追跡(SVT)、電子車両識別(EVI)に関する法令が施行される可能性があると考えられます。このうち、EVI に関して法令が施行される可能性が最も高いでしょう。

### 業界と政府間の意思疎通の向上

自動車メーカーは、ブラジルで一部の自動車メーカーを驚かせ、その対応に多大なコストを要する SVT 義務付け法令のように、政府が予期せぬ新しい法令を施行することは避けたいと考えています。自動車メーカーが中国において予期せぬ法令施行を回避し、政府の意向に影響を与えるためにできることとして、全国規模の「テレマティクス業界連盟」(TIAA)や地域単位の「上海テレマティクス情報サービス連盟」(STISA)のような新しいテレマティクス関連業界団体に加入することがあげられるでしょう。



# »» ...know what tomorrow brings

## 目次

### 1. 要旨

- 1.1 はじめに
- 1.2 要点サマリー 60-second summary of conclusions
- 1.3 キーポイントの解説

### 2. テレマティクスサービスの運営に必要な事業免許

- 2.1 はじめに
- 2.2 免許発行を所管する行政機関
  - 2.2.1 中国工業情報化部 (MIIT)
  - 2.2.2 中国国家測絵局 (SBSM)
- 2.3 付加価値電気通信サービス (VATS)
- 2.4 テレマティクス事業免許を取得するための戦略
  - 2.4.1 外国投資規定を順守する
  - 2.4.2 優良なパートナー企業にテレマティクスを外注する
  - 2.4.3 サービスの無料／有料を検討する
  - 2.4.4 提供するサービスを吟味する
- 2.5 今後の展望

### 3. テレマティクスサービスの装備義務化について

- 3.1 はじめに
- 3.2 短期的展望 ～ 電気自動車のリアルタイムモニタリング
  - 3.2.1 データ収集に関する MIIT 要件の概要
  - 3.2.2 法規制導入のテレマティクス産業への影響と今後の展望
- 3.3 長期的な展望

### 4. 業界と政府の連携強化

- 4.1 はじめに
- 4.2 新しい協会組織
  - 4.2.1 国レベルのイニシアティブ ～ TIAA (Telematics Industry Application Alliance)
  - 4.2.2 地方レベルのイニシアティブ ～ STISA (Shanghai Telematics and Information Service Alliance)
  - 4.2.3 地方レベルのイニシアティブ ～ 上海市ハイテク産業化プログラム
- 4.3 外資系 OEM の今後の課題とビジネスチャンス

## 図表一覧

- 図 1. 中国の複雑な事業免許制度と法規制の概要
- 図 2. OE テレマティクス関連の職責を担う MIIT 部局
- 図 3. VATS 分野の事業免許
- 図 4. 免許取得プロセスの中国とその他の諸国の比較
- 図 5. 事業免許取得のために OE が採用した戦略
- 表 6. 外資系企業に対する公的規制
- 図 7. 電気通信産業への外資参入における正式／非公式ルート
- 図 8. サービスによるユーザーへの付加価値度と免許取得要件の関係
- 図 9. 新興市場における自動車関連修正法の件数 (2009 年)
- 表 10. 新エネルギー車の監視要件
- 図 11. MIIT 規定のリアルタイムデータ
- 表 12. 中国政府による法規制の今後の可能性
- 図 13. STISA (Shanghai Telematics and Information Service Alliance) の役割

# SBD の基本理念

自動車セキュリティ分野、テレマティクス・ITS 分野、ならびにコスト・オブ・オーナーシップ向上活動分野において最先端の製品開発を深い知識と確かな情報で支援する。

## ...本書の著者について



スティーブン・ロングデン - テレマティクス及び ITS スペシャリスト

ウェストミンスター大学において交通計画・管理研究科の修士課程を修了後、「The Intelligent Highway」誌の編集者を務める。さまざまな ITS アプリケーションに関する調査を行っており、特に中国のような新興市場や、eCall といった新しい取り組みを専門とする。

## 本書のご購入形態

レポート名	日本語版	日本語版	英語版	英語版
	製本+PDF	製本のみ	製本+PDF	製本のみ
中国のテレマティクス関連法規制の壁を乗り越えるには (SBD/TEL/2850)	¥250,000	¥200,000	¥215,000	¥165,000

## SBD ジャパン

担当：近藤 真子

Eメール：mkondo@sbdjapan.co.jp

Tel：052-253-6203

## 関連レポート



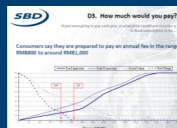
### 中国における OE テレマティクスサービスの分析 (SBD/TEL/2190)

本書では中国の OE テレマティクス市場において現在提供されているサービス、および計画段階のサービス概要について行った調査をもとに市場予測を行っています。また、自動車メーカーおよびサービスプロバイダーが直面しているライセンス、パートナーシップ、政府機関による規制といった中国市場特有の課題についても検証し、この成長市場への参入において成功を収める戦略について提言しています。



### 中国テレマティクス市場の主なけん引要因 (SBD/TEL/2160)

本書では、自動車メーカーによる OE テレマティクスの導入を促す要因である、自動車所有率の増加、車両盗難、国内のアフターマーケットソリューション、緊急時のサービス、交通渋滞、セルラーネットワークのカバレッジ、政府の政策などについて詳細に解説しています。



### 中国テレマティクスサービスエンドユーザー調査 (SBD/TEL/2695)

中国市場が発展し、成熟するにつれてどういったサービスが必要とされるかを把握する重要性が増しています。このエンドユーザー調査では、中国ユーザーがテレマティクスに何を求めているかを明らかにしており、中国でのテレマティクスビジネスに関わる方々に興味深い内容となっています。

当調査レポートでは下記のような内容を取り上げています。

- ユーザーがトヨタ・レクサスのG・Book テレマティクスを選択した理由と、そのシステムとサービスに対する見解
- 高級車所有者とミドルクラス車所有者が体験ドライブを行った際の意見